

令和6年度第1回鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会

日 時	令和6年4月24日(水) 13:30~15:10
場 所	鹿児島市水道局 2階 大会議室
出席者	鹿児島市水道事業及び公共下水道事業経営審議会委員9名
市出席者	水道事業及び公共下水道事業管理者、総務部長、水道部長、下水道部長、水道局各課長、関係職員
会次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委員紹介</li> <li>3 当局出席者紹介</li> <li>4 管理者あいさつ</li> <li>5 会長、副会長互選</li> <li>6 議題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 水道事業、公共下水道事業及び工業用水道事業の令和6年度予算</li> <li>(2) 鹿児島市上下水道事業計画に掲げる取組事項の令和6年度実施計画</li> <li>(3) 水道局の令和6年度組織整備について</li> </ol> </li> <li>7 その他</li> <li>8 閉会</li> </ol> <p>～審議会終了後 水道応急・維持管理センターの施設見学会～ 参加者：経営審議会委員：7名 見学時間：約45分間（移動時間は含まない）</p>
主な内容等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和6年度公共下水道事業（污水）予算における純損失の要因と今後の対応について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 修繕費、資産減耗費の増という特殊的な要素や動力費の高騰が臨時的な要因として考えている。今後この動向を注視し、構造的な赤字になるようであれば、支出の節減や料金の改定等について検討しなければならないと考えている。</li> </ul> </li> <li>2. 水道管路の更新と財源確保方法について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 水道管路の更新については、老朽管の更新事業、耐震化の事業を計画に基づき行っている。更新については、令和4年度から10カ年で253Km、耐震化については令和3年度から11カ年で23Kmの延長を対象に整備を進めている。国からの補助金は、耐震化について一定額の補助はあるが、更新事業については、自分たち独自の財源でどのような更新方法で行うのか検討する時期にきていると考えている。</li> </ul> </li> <li>3. 応急給水に係る現状及び対応について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 断水時の対応や応急給水拠点については、ホームページ、市民のひろば、広報紙「こんにちは水道局です」を通じて広報を行っており、実際に断水となった場合の対応としては、現地で広報車での広報も行っている。</li> </ul> </li> <li>4. 技術の継承、人材確保について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 技術の継承については、研修を通じて、技術、知識の向上に努めている。人材の確保については、今後事業を継続していく中でも重要なことであると思うので、ご意見として賜りたいと思う。</li> </ul> </li> <li>5. 漏水対策への取組について             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 漏水箇所の特定については相応の時間と費用を費やしている現状がある。最新技術の情報収集に努めたいと考えている。</li> </ul> </li> </ol>